令和４年度　第８回理事会

日　時：令和４年１１月１１日（金）１５：３０～

場　所：森林総合研究所特別会議室（つくば市）、テレビ会議（川崎市）

Ⅰ．報　告

１．令和４年度補正予算案の概要について　［総合調整室］

２．令和４年度　機構評議会等の開催について　［総合調整室］

３．令和４年度賃金等改定交渉の状況について（非公表）　［総務課］

４．第２５回「親林の集い」の開催報告　［林木育種センター］

Ⅱ．その他

１．今後の行事予定について

２．主要行事

３．令和４年１０月に森林総合研究所が広報した研究成果

理　事　会　資　料
令和４年１１月１１日
総　合　調　整　室

令和４年度補正予算案の概要について

令和４年度補正予算案は、令和４年１１月８日に閣議決定され、その概要は別紙のとおりです。

令和4年度　林野関係補正予算の概要

林野関係合計	1,162　億円

（単位：百万円）

区　　分	公　共	非公共	計
森林整備事業・治山事業	69,500		69,500
森林整備事業 （うち275億円は総合的なTPP等対策）	43,900		43,900
治山事業	25,600		25,600
山林施設災害復旧等事業	23,967		23,967
国内森林資源活用・木材産業国際競争力強化対策	27,500	22,391	49,891
（うち275億円は森林整備事業（再掲））	（再掲）		（再掲含む）
林業従事者等確保緊急支援対策		319	319
合　　計	93,467	22,710	116,177

（注）1　金額は、関係ベース。

2　計数は、四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。

令和４年度林野関係補正予算の重点事項

総額　１，１６２億円

１　食料安全保障の強化に向けた構造転換対策

①　燃油・資材の森林由来資源への転換等対策　　４９９億円の内数

・燃油・資材の価格高騰に対応するため、きのこの生産施設の省エネ化や生産資材導入を支援するとともに、木質バイオマスの収集・運搬、木質燃料の製造・熱利用に向けた取組等を支援

２　「総合的なＴＰＰ等関連政策大綱」に基づく施策の実施

⑴　次世代を担う経営感覚に優れた担い手の育成

①　農林水産業の担い手の確保・育成

・林業への就業ガイダンスやトライアル雇用、労働力のマッチング、多能工化、労働安全確保、外国人材の受け入れに向けた条件整備等を支援　　（林業従事者等確保緊急支援対策）３億円

⑵　国産材の国際競争力の強化及び国産材供給力の強化・国産材への転換

①　国内森林資源活用・木材産業国際競争力強化対策＜一部公共＞　　４９９億円の内数

・外材の輸入圧に対抗するための木材産業の国際競争力強化及び木材不足・価格高騰（いわゆるウッドショック）の経験を踏まえた国産材のシェア拡大による海外情勢の影響を受けにくい需給構造の構築に向け、川上から川下まで総合的かつ一体的に支援

ア　生産基盤の強化

・川上において、高性能林業機械の導入、路網整備、森林資源情報の整備、間伐材生産、再造林、エリートツリー等の苗木生産施設の整備等による供給力の強化を支援

イ　製品供給力の強化

・川中において、大規模化・効率化、輸出向け等の高付加価値品目への転換、既存施設の機能向上やストック機能の強化なども含めた木材加工流通施設の整備等による供給力の強化を支援

ウ　国産材の需要拡大、国産木材製品への転換

・川下において、木材製品等の輸出促進を支援するとともに、CLT や JAS 構造材の非住宅等への利用実証、外構部等の木質化、住宅分野における国産の木材製品への転換等を支援

３　防災・減災、国土強靱化と災害復旧等の推進

⑴　防災、減災、国土強靱化の推進

①　治山施設の設置等による対策＜公共＞　　２５６億円

・森林の防災・保水機能を適切に発揮するため、山地災害危険地区や氾濫した河川の上流域等において、治山施設の整備等による流木・土石流・山腹崩壊の抑制対策等を実施・支援

②　森林整備による対策＜公共＞　　１６４億円

・森林の防災・保水機能を適切に発揮するため、重要なインフラ施設の周辺や氾濫した河川の上流域等での間伐等や、林道の開設・改良等の対策を実施・支援

⑵　令和４年８月の大雨等の災害からの復旧・復興

①　災害復旧等事業＜公共＞　　２４０億円

・被災した治山施設、林道施設等の速やかな復旧等を実施・支援

国内森林資源活用・木材産業国際競争力強化対策＜一部公共＞

【令和４年度補正予算額　49,890,749千円】

＜対策のポイント＞

木材製品の国際競争力強化や輸出目標達成に向けた**木材産業の体質強化、原木の生産基盤整備、木材製品等の輸出・消費拡大**や、海外情勢の影響を受けにくい需給構造構築に向けた**国産材供給力の強化、国産の製品等への転換、木質バイオマス利用促進、きのこの生産資材高騰対策等**を支援します。

＜事業目標＞

○　国産材の供給・利用量の増加（34百万㎥［令和３年度］→42百万㎥［令和12年度まで］）
○　建築用材等の国産材利用率（48%［令和３年度］→63%［令和12年度まで］）

＜事業の内容＞

１．国際競争力・木材供給基盤強化対策＜一部公共＞

生産性向上や競争力のある製品生産等に向けた**木材加工流通施設等の整備**、原木の低コストかつ安定的・持続的な供給を図るとともに、急激な需要変化にも対応可能な原木供給体制の維持・拡大に向けた**路網整備**やデジタル技術を活用した**森林資源情報の整備、高性能林業機械等の導入、間伐材生産、再造林、エリートツリー等の苗木の生産施設整備**等を支援します。

２．木材製品等の輸出支援対策

輸出先国のニーズや規格・基準に対応するための性能検証、輸出先国におけるプロモーション活動、特用林産物の販売促進や**きのこの知的財産保護**等の取組を支援します。

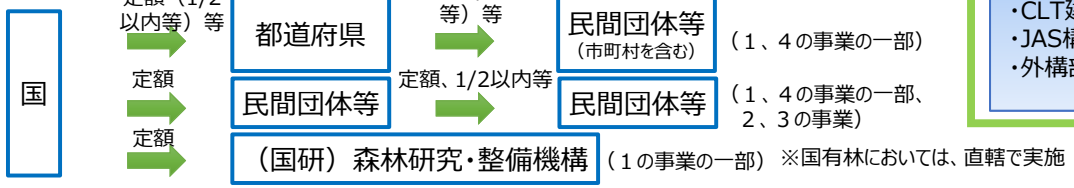
３．木材製品の消費拡大対策

非住宅分野等における消費拡大を推進し、木材製品の国際競争力を高めるため、**CLTを活用した建築物の実証、木質建築部材の技術開発、JAS構造材の利用実証**や**外構部等木質化の実証**等を支援します。

４．国内森林資源活用・建築用木材供給力強化対策

国産の製品の供給体制強化に向けた**木材加工流通施設等の整備**、原木供給力の強化に向けた**高性能林業機械等の導入**、住宅分野における**建築用木材の国産の製品等への転換**、燃油や資材の価格高騰や供給難への対応として**木質バイオマスエネルギーへの転換、きのこ生産者に対する省エネ機器等の導入支援や次期生産に必要な生産資材の導入費の一部支援による体質強化**を支援します。

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

［お問い合わせ先］林野庁計画課（03-6744-2082）

国内森林資源活用・木材産業国際競争力強化対策のうち

国際競争力・木材供給基盤強化対策＜一部公共＞

【令和4年度補正予算額 49,890,749千円の内数】

＜対策のポイント＞

林業・木材産業等関係者の参画により都道府県が作成する「供給力・体質強化計画」に基づき、生産性向上や競争力のある製品生産等に向けた**木材加工流通施設等の整備**、急激な需要変化にも対応可能な原木供給力の維持・拡大に向けた**路網整備**、**デジタル技術を活用した森林資源情報の整備**、**高性能林業機械等の導入**、**間伐材生産**、**再造林**、**エリートツリー等の苗木の生産施設整備**等を支援します。

＜事業の内容＞

1　木材産業の輸出促進・体質強化対策

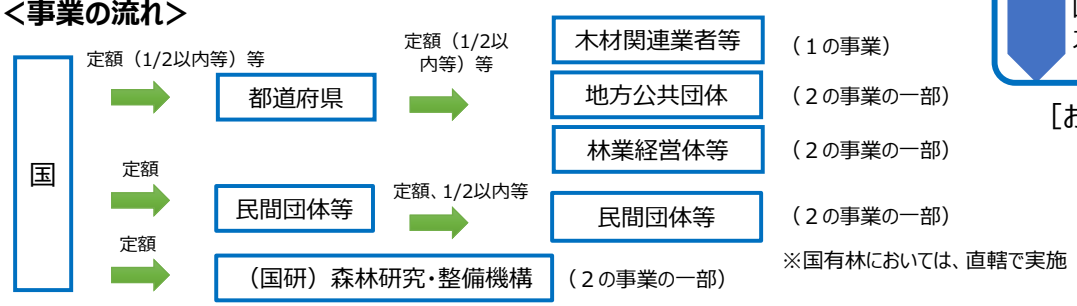
木材製品の国際競争力の強化に向け、合板・製材・集成材工場等の大規模・高効率化、低コスト化、工場間連携や他品目への転換や輸出拡大に資する木材製品の高付加価値化に向けた木材加工流通施設等の整備を支援します。

2　原木の生産基盤整備・低コスト安定供給対策＜一部公共＞

大径材を含む原木を加工施設へ低コスト・安定的に供給するとともに、急激な木材需要の変化に対応可能な原木供給力の維持・拡大に向けた林道等の路網整備、デジタル技術を活用した森林資源情報の整備、原木供給力の強化に向けた高性能林業機械等の導入や間伐材生産、森林資源の安定確保に資する再造林やエリートツリー等の苗木の生産施設整備、林業機械の自動化・遠隔操作化に向けた開発・実証等を支援します。

＜事業イメージ＞

＜事業の流れ＞



※国有林においては、直轄で実施

［お問い合わせ先］

（1の事業）林野庁木材産業課（03-6744-2292）
（2の間伐、再造林、路網整備事業）林野庁整備課（03-6744-2303）
（2の高性能林業機械事業）林野庁経営課（03-3502-8048）
（2の苗木、林業機械開発事業）林野庁研究指導課（03-6744-2311）
（2の森林情報整備事業）林野庁計画課（03-6744-2339）

国内森林資源活用・木材産業国際競争力強化対策のうち国際競争力・木材供給基盤強化対策のうち原木の生産基盤整備・低コスト安定供給対策のうち

エリートツリー等の原種苗木増産施設整備

【令和４年度補正予算額　200,000千円】

＜対策のポイント＞

急激な木材需給の変化に対応可能な原木供給力の維持・拡大に向けて、成長等に優れたエリートツリー等の原種苗木の増産施設の整備を行う。

＜事業の内容＞

○ **原種苗木促成温室の整備**　　**200,000千円**

- 老朽化により十分な温度管理ができずエリートツリー等の原種苗木の増産に支障をきたしている原種苗木促成温室について、既存温室の撤去と新設を行う。
  （関西育種場四国増殖保存園、東北育種場）

＜事業の流れ＞

国 →（定額）→ 国立研究開発法人森林研究・整備機構

＜事業イメージ＞

○ 原種苗木促成温室の整備

環境制御型温室(外観)

環境制御型温室(内部)

［お問い合わせ先］林野庁研究指導課（03-6744-2312）

○ 森林整備による防災・減災対策＜公共＞

うち、水源林造成事業　4,232百万円

【令和４年度補正予算額　16,400百万円】

＜対策のポイント＞

森林の防災・保水機能の発揮のため、**山地災害危険地区周辺や氾濫した河川の上流域等における間伐等の森林整備**のほか、防災機能の強化に向けた**林道の開設・改良や森林作業道の復旧**等を推進します。

＜事業目標＞

森林吸収量2.7%（平成25年度総排出量比）の確保に向けた間伐の実施（令和３年度から令和12年度までの10年間の年平均：45万ha）

＜事業の内容＞

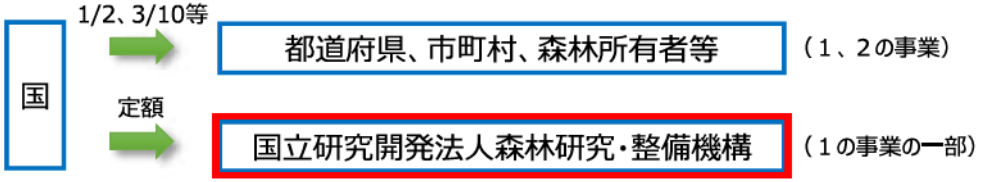
1．防災・保水機能を高めるための森林整備

森林の防災・保水機能を発揮させるため、流域治水の取組等とも連携しつつ、**山地災害危険地区や氾濫した河川上流域、重要なインフラ周辺等を対象に間伐等の森林整備**を推進します。

2．防災機能の強化に向けた路網整備

被災リスクの低減を図るため、**強靱で災害に強い林道の開設・改良等**を推進するとともに、被災箇所の放置による被害の拡大や道奥の森林整備の停滞等を防ぐため、**森林作業道の改良・復旧を単独で支援**します。

＜事業の流れ＞



※　国有林においては、直轄で実施

＜事業イメージ＞

［お問い合わせ先］林野庁整備課（03-6744-2303）

理　事　会　資　料
令和４年 11 月 11 日
総　合　調　整　室

令和４年度　機構評議会等の開催について

令和４年度機構評議会等について下記の日程で開催いたしますので、お知らせいたします。

記

日　時	会議名	場　所	事務局
11 月 17 日(木) 13:00～17:00	機構評議会 （施設見学会含む）	大会議室ほか	総合調整室 研究評価科 育種企画課 企画管理課 保険企画課
11 月 18 日(金) 10:15～12:00	企画連絡会議	大会議室ほか	研究企画科 研究評価科 広報普及科
13:15～16:00	地域情勢交換会議	特別会議室	研究企画科

理　事　会　資　料
令和４年 11 月 11 日
林木育種センター

第２５回「親林の集い」の開催報告

１．行事等の名称
　　第２５回「親林の集い」

２．行事等の期間（期日）及び場所
　　令和４年１０月２２日（土）
　　９：３０～１１：３０、１３：００～１５：００
　　森林総合研究所林木育種センター

３．参加範囲と参加人数
　　参加範囲：近隣の一般市民
　　参加人数：午前８８名、午後５５名　合計１４３名

４．概要
　　林木育種センターの研究紹介、ドローンで森を見てみようなどの展示の他、森の迷路、丸太切り、樹木製油の香り体験、木で出来たうちわ・しおりなどの絵付け、苗木プレゼントなどを行いました。当日お越しになれなかった方も見られるよう、ミニ劇場「マツを救え！」については YouTube でライブ配信を行いました。
(https://www.youtube.com/watch?v=KirBeJz6sXI)
　　今回は新型コロナウイルスが落ち着いてきたこともあり３年ぶりの開催となりました。例年より規模を縮小して行いましたので、参加される方は少なかったですが、参加された方はいろいろな体験が出来て満足して帰られました。午前・午後で各 2 時間としていたのですが、午前ではまわりきれず、午後にもう一度来られる方もおられました。

ミニ劇場「マツを救え！」

森林総研「樹木製油の香り体験」

森林整備センター・森林保険センター
「木のうちわ・しおりの絵付け」

令和４年 11 月理事会資料
国 立 研 究 開 発 法 人
森 林 研 究 ・ 整 備 機 構

今後の行事予定について

日　付	研究	整備	保険	行　事　名　等	場　所　等
11月14日 ～25日			○	林野庁中央展示「森林気象害と森林保険」	林野庁
11月21日	○			森林産業コミュニティ・ネットワーク（FICoN） 第5回ウェブ検討会	森林総合研究所 （オンライン）
11月26日	○			令和4年度四国支所公開講演会「森と恋して」	高知会館（高知市）
11月29日 ～30日	○			林地保全に配慮した森林施業と再造林の着実な実施に関する現地検討会	岡山県新見市
12月19日	○			種子・胞子・組織培養を使った保全フォーラム 「小笠原の絶滅危惧種に注目して」	日本植物園協会との共催（オンライン）

会議等については、新型コロナウイルス感染拡大の状況により、時期および開催手法が変更となる場合がある。

主要行事（令和4年10月14日～令和4年11月10日）

月　日	行 事 内 容	出 席 者
10月14日（金）	【共】第7回理事会	理事長、各理事、森林保険センター所長、両監事
17日（月）～19日（水）	【研・整】東北地域水源林造成業務視察	理事長、森林業務担当理事
18日（火）～20日（木）	【研・育】林業研究・技術開発推進九州ブロック会議	育種事業・森林バイオ担当理事
20日（木）	【整】事業運営会議	理事長、企画・総務・森林保険担当理事、森林業務担当理事、法令遵守担当理事、両監事
〃	【保】保険運営会議	理事長、企画・総務・森林保険担当理事、法令遵守担当理事、森林保険センター所長、両監事
21日（金）	【研・整】新規採用者研修開講式	
22日（土）	【育】親林のつどい	育種事業・森林バイオ担当理事
24日（月）	【研・整】新規採用者研修閉講式	
24日（月）	【研・育】林業研究・技術開発推進四国ブロック会議	企画・総務・森林保険担当理事
25日（火）～26日（水）	【研・育】林業研究・技術開発推進東北ブロック会議	
26日（水）	九州森林管理局技術交流発表会	理事長
27日（木）	全国木材産業振興大会	企画・総務・森林保険担当理事
11月1日（火）	【共】創立記念式典	理事長、各理事、森林保険センター所長、両監事
7日（月）	林野庁庁議	理事長
7日（月）	【育】育種運営会議	理事長、企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事、育種事業・森林バイオ担当理事、法令遵守担当理事

※ 【研】：森林総合研究所、【育】：林木育種センター、【整】：森林整備センター、【保】：森林保険センター、【共】：共通の行事　の略

令和4年11月理事会資料
森林研究・整備機構
森林総合研究所

令和4年10月に森林総合研究所が広報した研究成果

	広報タイトル	研究者・担当者名	掲載誌名	論文公開時期	備考
1	スギ心材色の明るさには遺伝が強く影響	モリ ヒデキ 森 英樹 （樹木分子遺伝研究領域）	PLOSONE 17(7) e0270522	2022年7月	
2	陸続きだった古い島ほど遺伝子が多様	スズキ セツコ 鈴木 節子 （樹木分子遺伝研究領域）	PLOS ONE、17(9)	2022年9月	
3	表層土壌の細菌類の組成と機能は斜面の上と下で大きく違う	シギョウ ノブヒコ 執行 宣彦 （立地環境研究領域 ）	Catena、214:106253	2022年7月	
4	準絶滅危惧種オオミズナギドリの頭部のない死骸はネコの捕食によるものだった―DNA分析による科学的エビデンス―	ワタリ ユウヤ 亘 悠哉 （野生動物研究領域）	Mammal Study. Vol.47 No.3	2022年7月	プレスリリース
5	林野土壌図とCS立体図を現地で同時閲覧可能に―より防災に配慮した施業計画の作成が可能に―	イシヅカ シゲヒロ 石塚成宏 （立地環境研究領域 ）		2022年9月	プレスリリース
6	国際共同研究プロジェクトの発足記念式典をインドネシアで開催―熱帯林のレジリエンスを高め、持続的な産業への改善を目指す―	ヤギハシ ツトム 八木橋 勉 （森林植生研究領域 ）		2022年10月	プレスリリース （JIRCAS主導）
7	タケササ類の一斉開花の見過ごされてきた意味―120年に一度の花を食べる昆虫とその寄生蜂との相互作用―	コバヤシ ケイト 小林慧人 （関西支所 ）	Biological Journal of the Linnean Society	2022年10月	プレスリリース （秋田県立大学主導）
8	落ち葉は“ゆりかご”のように微生物を包み込んではぐくみ、細根は“肥料”として土壌に還る？―森を支えるそれぞれのやり方―	フジイ サオリ 藤井 佐織 （森林昆虫研究領域）	Science of the Total Environment	2022年9月	プレスリリース （名古屋大学主導）
9	土壌の酸性環境に触発されて「落ち根」が増加しても、土壌有機物の養分保持機能はかわらない	ミゾグチ タケオ 溝口 岳男 （関西支所）	Plant and Soil	2022年9月	プレスリリース （名古屋大学主導）

（シンポジウム・イベント）

	名称	担当	主催等	開催場所	開催日	備考
1	森林産業コミュニティ・ネットワーク（FICoN）第5回ウェブ検討会「木質バイオマスエネルギー利用のあり方について考える」	森林総合研究所 FICoN事務局		Microsoft Teamsによるウェブ形式	11月21日（月） 14:00～17:00	
2	アグリビジネス創出フェア2022に出展します	研究管理科産学官連携・知財戦略室	主催：農林水産省 後援：森林研究・整備機構	東京ビッグサイト 西1ホール	10月26日（水）～28日（金） 10:00～17:00	
3	森林総合研究所主催ウェビナー「IPBES総会第9回会合から見えてきた研究面でのインパクトと課題」	生物多様性・気候変動研究拠点	森林総合研究所	オンライン配信：Zoomウェビナー	11月4日（金） 13:00～15:00	
4	小川試験地35周年記念シンポジウム「長期試験地を維持していく意味―小川試験地、これまで、これから―」	東北支所 直江将司	森林総合研究所	東京大学 弥生講堂 一条ホール （ハイブリッド開催）	10月5日（水） 13:00～16:40	

注）研究成果については、いずれも国立研究開発法人森林研究・整備機構中長期計画に定める重点課題等に対応するものである。